

キメ細かな工程管理で 高精度の金属加工を実現

ユタカ精工(株)

相模原市の工場地帯の一角にユタカ精工の工場がある。金属部品の切削加工を得意とする同社は今年で30周年を迎える。創業当初は「ポンプメーカーの下請けで単純な加工作業が多かったが、今では精度の高い製品の製造・加



「技術力で評価される企業でありたい」と豊岡社長

同社はモノづくりにこだわった相模原市の町工場です。製造業は原油価格の高騰で厳しい状態ですが、同社は高度な金属切削加工技術のおかげで、顧客の信頼を得ています。相模原市には技術力のある町工場が多く存在します。同社にはそうした町工場のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

本談判
採ります!!



天野税理士事務所 所長
天野俊裕さん

工を行っている」と話すのは社長豊岡淳さん(43歳)。

豊岡社長が技術力の向上に力を入れたのは、父の跡をついだ10年ほど前。営業職として取引先に出かけることの多かった豊岡社長は「納品した製品の欠陥を指摘され、死ぬほど恥ずかしい思いをした」そうだ。「技術はあ

度の高い製品をつくれるようになった」と豊岡社長は話す。

こうした生産体制のおかげで、同社には工業用製品から料理用の鍋、釣り用のパッド、クルマのウイング、パーツまで幅広い注文が入ってくるようになった。が、最近では原油価格の高騰で「利益幅が減っている」という。

そこで豊岡社長は自社の地の利に注目。思いついたのは「企業連携」だった。相模原市は日本有数の工業地帯で多くの町工場が存在する。こうした町工場の技術をまとめて、新たな仕事を獲得しようというのだ。数年前まで豊岡社長は相模原市青年工業経営研究会の会長として企業連携を模索してきた。

「中小企業がひとつにまとまる

のは難しいですが、各企業が連携することで相模原のモノづくりのワザを広めていきたい」と豊岡社長は抱負を語る。

心機一転、技術力と連携でユタカ精工は活路を見出す。

社長のひとこと



QRコード対応のケータイ電話でご覧いただけます。

社長の自社採点

企画開発力★★★★☆	人材力★★★★☆
営業力★★★★☆	専門性★★★★☆
成長力★★★★☆	リサーチ力★★★☆☆
収益力★★★☆☆	計画性★★★★☆
地域貢献力★★★★☆	リスクマネジメント★★★★☆

会社概要

本社・〒229-1124 神奈川県相模原市田名2053-3/
☎042-761-5018/設立79年/資本金1000万円/年商1億円/従業員12名 <http://www.yutaka-seiko.co.jp/>